

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健課（内線：7142）

1目 社会福祉総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
心のバリアフリー推進事業	(93,562) 92,792	(123,256) 123,256	(△29,694) △30,464			(89,040) (貸付金元利収入) 88,270	(4,522) 4,522	

トータルコスト 103,280千円（前年度134,027千円）[正職員：1.3人]

主な業務内容 制度周知、協定締結・利用証交付、普及啓発、懇話会・協議会の開催

工程表の政策目標（指標） 地域福祉支援体制の充実

事業内容の説明 ※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

1 事業の目的・概要

バリアフリー精神の県民一人一人への浸透を図り、高齢者・障がい者等への理解と支援を深め、誰もが住みよいまちづくりを推進するために要する経費である。

2 主な事業内容

（単位：千円）

項 目	内 容	金 額
ハートフル駐車場利用証制度	公共的施設の身体障がい者等用駐車場について県内共通の利用証を発行し、身体障がい者等用駐車場の適正利用を図る。 ○アンケート調査の実施（緊急雇用創出基金で実施） 制度開始（H21.10月）8ヶ月経過後を目処に制度の検証を行うため、アンケート調査を実施する。 ・調査対象：利用証交付者、協定施設管理者 ・主な調査内容：制度導入前に比べて関係ないと思われる車の駐車が減ったか等 （緊急雇用創出事業を活用：商工労働部一括予算計上） 雇用創出人数 1人（4か月×1人） ○利用証の作成、配布 ○協定施設用案内表示ステッカーの作成、配布 ○制度周知用チラシの作成、配布	1,401
普及啓発	・小学生向け冊子の作成 ・福祉のまちづくり施設基準適合証の交付	1,537
推進体制整備	・福祉のまちづくり推進協議会の実施等 ・福祉のまちづくり地区懇話会（東部・中部・西部）の実施等	1,584
民間施設の整備支援	民間施設整備に係る金融機関への預託 新規貸付廃止以前に行われた貸付けに係る県の金融機関に対する預託等に要する経費 ※平成17年度をもって新規貸付は廃止。 ※上記預託については、平成27年度に終了予定	88,270
合 計		92,792

3 これまでの取組状況・改善点

身体障がい者等用駐車場の適正利用を図るため、先進地の取組みについて調査を実施し、「ハートフル駐車場利用証制度」の導入を検討、平成21年10月1日より制度を開始した。

・利用証交付数 1,000件（H22.1.20現在）※21年度目標 2,500人

・協定施設数 279施設（H21.1.21現在）※21年度目標 400施設

協力していただける民間の施設がまだ少ないため、今後協力施設を増やしていく必要がある。

また、制度の検証を行うため、22年度にアンケート調査を実施する。